



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣地 厚

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	34,168	1.6	1,584	15.8	1,740	23.5	998	48.9
2019年3月期第1四半期	33,642	1.9	1,882	7.5	2,274	11.9	1,954	14.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 62百万円 (95.0%) 2019年3月期第1四半期 1,240百万円 (60.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	55.24	54.96
2019年3月期第1四半期	107.03	106.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	171,012	109,088	62.8	5,942.96
2019年3月期	169,632	111,068	64.6	6,059.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 107,457百万円 2019年3月期 109,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				110.00	110.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	4.5	7,000	4.6	6,800	4.9	4,300	5.2	237.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	19,293,516 株	2019年3月期	19,293,516 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,212,053 株	2019年3月期	1,220,318 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	18,076,889 株	2019年3月期1Q	18,262,656 株

自己株式数には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)における日本経済は、企業業績や雇用環境の改善等を背景に全体としては緩やかな回復基調にあるものの、消費増税を意識した食料品や生活必需品の物価上昇懸念に加えて、米中間の貿易摩擦、新興国等の海外経済の不確実性などにより、先行き不透明な経営環境が続きました。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ(2017年度～2020年度)」の3年目を迎え、『集中と結集』をキーコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めました。

機能ソリューション事業は、メディカル分野の国内販売を強化しましたが、プラスチックフィルム分野が苦戦しました。アパレル事業は、差異化商品の拡販と成長販路への取り組みを強化しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は34,168百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は1,584百万円(前年同期比15.8%減)、経常利益は1,740百万円(前年同期比23.5%減)となりましたが、前年計上した固定資産売却益の影響等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は998百万円(前年同期比48.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、主力のシュリンクフィルムやナイロンフィルムが堅調に推移したものの、OPPフィルムや多層フィルムは市況の影響を受け苦戦しました。エンジニアリングプラスチック分野は、半導体市場向けが停滞したもののOA向け製品は堅調に推移しました。電子部品分野は、中国内販を中心にタッチパネルが好調に推移しましたが、フィルム販売は減少しました。メディカル分野は、株式会社メディカルユーアンドエイの子会社化による骨接合材の拡販や、人工皮膚が引き続き堅調に推移しましたが、米国向け縫合補強材の減少と治験費用等の増加影響を受けました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は13,054百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は1,197百万円(前年同期比26.5%減)となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野は、前年発売したBODYWILD「AIRZ」およびTシャツ専用のインナーウェアYG「in. T(インティー)」等の差異化商品に加えて、スポーツカテゴリー商品が順調に推移しました。レグウェア分野は、レギンスが順調に推移しました。

以上の結果、アパレル事業の売上高は17,444百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は974百万円(前年同期比33.1%増)となりました。

<ライフクリエイイト事業>

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業は大型連休を中心に堅調に推移し、賃貸事業においては新規物件が貢献しました。スポーツクラブ分野は、会員数は増加に転じましたが、新店舗の費用負担が大きく苦戦しました。

以上の結果、ライフクリエイイト事業の売上高は3,781百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は193百万円(前年同期比33.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、171,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,379百万円増加しました。主な増加要因は、商品及び製品の増加1,517百万円、流動資産「その他」の増加1,153百万円(前渡金等)、仕掛品の増加739百万円であり、主な減少要因は、投資その他の資産「その他」の減少1,329百万円(出資金等)、投資有価証券の減少1,068百万円であります。

負債は、61,923百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,360百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金が増加3,873百万円であり、主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少801百万円であります。

純資産は、109,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,980百万円減少しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加998百万円であり、主な減少要因は、配当による減少1,995百万円、その他有価証券評価差額金の減少1,280百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、2019年5月14日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,102	8,421
受取手形及び売掛金	30,376	30,068
商品及び製品	20,082	21,600
仕掛品	6,413	7,153
原材料及び貯蔵品	4,635	4,920
その他	3,426	4,580
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	73,030	76,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,113	41,209
機械装置及び運搬具（純額）	9,897	9,631
土地	13,005	13,007
その他（純額）	2,466	2,793
有形固定資産合計	66,483	66,642
無形固定資産	2,143	2,059
投資その他の資産		
投資有価証券	19,170	18,102
その他	9,059	7,729
貸倒引当金	△254	△256
投資その他の資産合計	27,975	25,574
固定資産合計	96,602	94,276
資産合計	169,632	171,012

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,910	9,108
短期借入金	6,416	6,655
コマーシャル・ペーパー	6,200	9,800
1年内返済予定の長期借入金	2,101	2,208
未払法人税等	1,376	549
賞与引当金	1,314	548
その他	9,350	10,267
流動負債合計	36,669	39,138
固定負債		
長期借入金	10,972	10,899
退職給付に係る負債	5,534	5,547
長期預り敷金保証金	4,500	5,045
その他	886	1,293
固定負債合計	21,894	22,785
負債合計	58,563	61,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,754	6,748
利益剰余金	82,050	80,971
自己株式	△5,293	△5,244
株主資本合計	109,583	108,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	△1,055
繰延ヘッジ損益	19	△14
土地再評価差額金	△54	△54
為替換算調整勘定	745	912
退職給付に係る調整累計額	△1,011	△877
その他の包括利益累計額合計	△76	△1,089
新株予約権	260	255
非支配株主持分	1,301	1,375
純資産合計	111,068	109,088
負債純資産合計	169,632	171,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	33,642	34,168
売上原価	23,532	23,790
売上総利益	10,109	10,378
販売費及び一般管理費	8,226	8,794
営業利益	1,882	1,584
営業外収益		
受取利息	20	9
受取配当金	248	317
固定資産賃貸料	111	121
為替差益	183	—
その他	39	52
営業外収益合計	603	501
営業外費用		
支払利息	48	55
固定資産賃貸費用	101	106
為替差損	—	70
その他	62	112
営業外費用合計	211	345
経常利益	2,274	1,740
特別利益		
固定資産売却益	646	8
負ののれん発生益	0	21
その他	3	—
特別利益合計	649	30
特別損失		
固定資産除売却損	25	15
関係会社株式評価損	—	84
その他	—	4
特別損失合計	25	105
税金等調整前四半期純利益	2,898	1,664
法人税等	884	604
四半期純利益	2,014	1,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,954	998

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,014	1,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△742	△1,280
繰延ヘッジ損益	107	△34
為替換算調整勘定	△255	180
退職給付に係る調整額	116	134
その他の包括利益合計	△774	△998
四半期包括利益	1,240	62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,195	△16
非支配株主に係る四半期包括利益	44	78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,560	17,225	3,856	33,642	—	33,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	48	22	96	△96	—
計	12,585	17,274	3,878	33,738	△96	33,642
セグメント利益	1,628	732	291	2,653	△770	1,882

(注)1 セグメント利益の調整額△770百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,019	17,397	3,751	34,168	—	34,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	46	29	111	△111	—
計	13,054	17,444	3,781	34,280	△111	34,168
セグメント利益	1,197	974	193	2,365	△781	1,584

(注)1 セグメント利益の調整額△781百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。